

皆さんの意見を
反映させる
市議会を
傍聴しましょう

ひの市議会だより

市議会だより 第128号

平成7年5月12日

発行日 野市議会

住所 〒191 日野市神明一丁目12番地の1

電話 (0425) 85-1111

内線 601 ~ 604

第1回定例会

7年度一般会計予算

賛成多数で修正可決

444億900万円(対前年度比4.2%増)

平成7年第1回定例会は、3月7日から3月29日まで、23日間にわたり開かれ、市長提出議案32件、議員提出議案2件、請願・陳情38件が審議されました(審議結果は6頁に掲載)。また、今定例会では、一般会計予算及び特別会計予算特別委員会が設置され、平成7年度予算案が審議されました。慎重審査の結果、7つの特別会計予算案は原案どおり可決されましたが、一般会計予算案については修正案が提出され、賛成多数で修正可決されました。

平成7年第1回定例会は3月7日に開会されました。(日程は別表参照)

今定例会では「手数料条例の一部を改正する条例の制定」など市長提出議案32件(原案可決27件、修正可決1件、同意1件、承認1件、否決1件、継続1件)、議員提出議案2件(原案可決1件、否決1件)が審議されました。

老人美容券の交付に所得制限を新たに設けることを内容とした「高齢者福祉条例の一部を改正する条例の制定」については、福祉の諸制度の見直しを全体的に行うべきであるとして否決

されました。また、「平成7年度一般会計予算」については、高齢者福祉条例の一部を改正する条例が否決されたために、民生費を増額する修正案が提出され、賛成多数で可決されました。

また、請願・陳情については、6件を採択、5件を不採択とし、27件が継続審査となりました。

28日の最終日、本会議前に厚生委員会と一般会計予算特別委員会が再度開かれたため、同日中に日程を終了することができず、会期を1日延長し翌29日早朝まで審議が行われました。

主な議案と内容

手数料条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)

【提案の理由】昭和51年5月の改正以降19年間据え置かれている手数料を、手数料・使用料等検討委員会からの答申に基づき改定するものです。

【提案の内容】租税公課に関する証明、身分書元に関する証明、居住に関する証明、印鑑に関する証明、住民基本台帳に関する証明、外国人登録に関する証明、申請届書に関する証明などの手数料が150円(現行100円)に引き上げられます。

【条例の施行日】平成7年6月1日から施行されます。

自転車等の駐車秩序の確保に関する条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)

【提案の理由】放置自転車等の撤去、処分等を迅速かつ合理的に推進するため、平成6年6月に自転車の安全利用の促進及び自転車駐車場の整備に関する法律が一部改正されたことに伴い、条例の一部を改正するものです。

【提案の内容】①自転車利用者の防犯登録の義務化 ②放置自転車等の撤去費用(自転車2千円、原動機付自転車3千円)の徴収 ③商業地域等における施設の設置者に対する自転車等駐車場の設置の義務化、などを主な内容とする改正です。

【条例の施行日】平成7年10月1日から施行されます。

高齢者福祉条例の一部を改正する条例の制定 (否決)

【提案の理由】老人美容・美容券の交付要件に新たに所得制限を設けるため、条例の一部を改正するものです。

【提案の内容】70歳以上の高齢者への理美容券の交付に所得制限(年収で概ね30万円以下)を設け、申請方式とするものです。なお、この改正により約1千83万3千円の経費削減となります。

【提案に対する意見】(反対)十分な論議が行われていない。行政の中の位置づけ、提案された理由等が不明確であり見直しを求めたい。

(賛成)財政事情から提案されたものならば止むを得ない。財政が好転すれば所得制限を外してほしい。

【採決の結果】賛成少数で否決されました。

体育施設条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)

提案の理由

【提案の理由】手数料・使用料等検討委員会からの答申に基づき体育施設使用料を改定するため、条例の一部を改正するものです。

【提案の内容】①市民プールの使用料を3時間まで大人(高校生以上)200円、小人(中学生以下)100円に改める ②市民陸上競技場の大人使用料に年間使用3千円を新設する ③テニスコートの使用料を、2時間以内600円(現行400円)、3時間以内900円(現行600円)に改める、などを主な内容とする改正です。

【条例の施行日】平成7年6月1日から施行されます。

固定資産評価審査委員会委員の選任 (同意)

次の方の選任に同意がされました。
奥住 壽(45歳)
住所 日野市栄町五丁目14番地の2



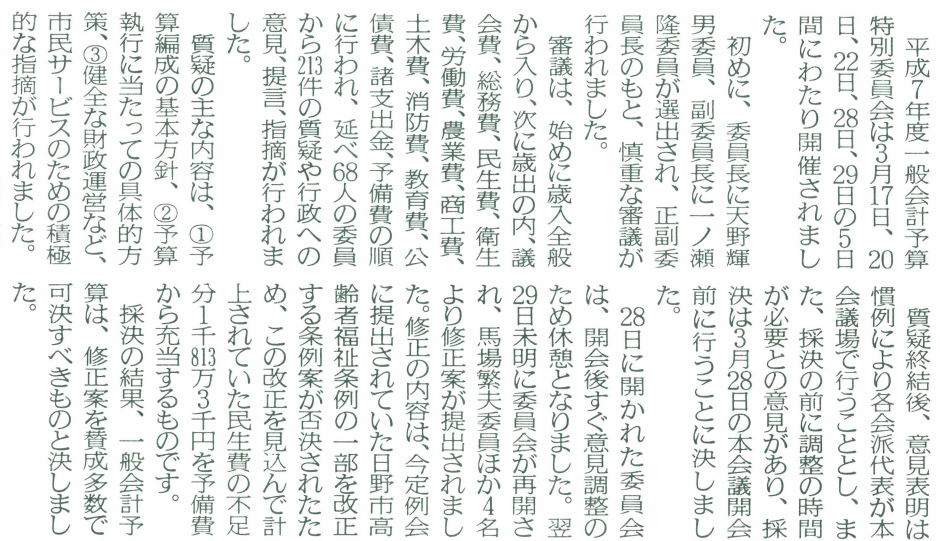
▲平成9年度の完成を目指し工事が進む多摩都市モノレール

平成7年第1回定例会日程

3月7日(初日)	会期の決定、所信表明 議案上程、請願上程
8日 ~13日	一般質問
14日	一般質問、議案上程、請願上程
15日	常任委員会(総務、文教)
16日	常任委員会(厚生、建設)
17日 ~22日	一般会計予算特別委員会
23日	特別会計予算特別委員会
24日	特別委員会
28日 ~29日 (最終日)	厚生委員会 一般会計予算特別委員会 議案・請願審査報告、議案上程 請願上程

平成7年度予算

特別委員会の審議から



区 分		平成 7 年度予算額	平成 6 年度予算額	増減率
一 般 会 計		44,409,000千円	42,612,506千円	4.2%
特 別 会 計		31,328,228千円	30,604,256千円	2.4%
内 訳	国 民 健 康 保 険	5,970,363千円	5,393,737千円	10.7%
	土 地 区 画 整 理 事 業	3,582,343千円	3,957,123千円	−9.5%
	下 水 道 事 業	7,968,013千円	8,328,515千円	−4.3%
	市 立 総 合 病 院 事 業	4,277,458千円	3,984,740千円	7.3%
	受 託 水 道 事 業	2,589,700千円	2,463,200千円	5.1%
	老 人 保 健	6,886,225千円	6,425,210千円	7.2%
	老人入院共済事業	54,126千円	51,731千円	4.6%
合 計		75,737,228千円	73,216,762千円	3.4%

特別会計

平成7年度特別会計予算
水道事業、老人保険、老人入
院共済事業の順に行われ、
延べ13名の委員から35件の
質疑や行政への意見、提言
指摘があり、7つの特別会
計とも全会一致で原案とお
り可決すべきものと決しま
した。

審議は、国民健康保険、土
地区画整理事業、下水道事
業、市立総合病院事業、受託



委員会の所属が決まる

各議員の所属する委員会が次のとおり決まりました。

（ ）内は所属会派名

 ⑥小島 久 (民主クラブ) ○総務委員 ○市立病院等対策特別委員長	 ⑤吉富 正敏 (民主クラブ) ○厚生副委員長 ○交通対策特別副委員長	 ④渡邊 馨鴻 (無会派) ○文教委員 ○スポーツ・文化施設対策特別副委員長	 ③菅原 直志 (無会派) ○厚生委員 ○スポーツ・文化施設対策特別委員	 ②佐藤 洋二 (無会派) ○厚生委員 ○交通対策特別委員	 ①江口 和雄 (市民クラブ) ○文教委員 ○下水道対策特別委員長
 ⑫田原 茂 (公明) ○総務委員長 ○議会運営委員 ○スポーツ・文化施設対策特別委員	 ⑪沢田 研二 (市民クラブ) ○建設委員長 ○議会運営委員 ○市立病院等対策特別委員	 ⑩中谷 好幸 (日本共産党) ○建設委員 ○交通対策特別委員長	 ⑨佐瀬昭二郎 (護憲市民会議) ○建設委員 ○スポーツ・文化施設対策特別委員長	 ⑧森田美津雄 (護憲市民会議) ○文教副委員長 ○市立病院等対策特別副委員長	 ⑦小川 友一 (民主クラブ) ○総務委員 ○議会運営委員 ○スポーツ・文化施設対策特別委員
 ⑬橋本 文子 (護憲市民会議) ○厚生委員長 ○交通対策特別委員	 ⑰奥住日出男 (民主クラブ) ○厚生委員 ○議会運営委員 ○スポーツ・文化施設対策特別委員	 ⑯天野 輝男 (民主クラブ) ○文教委員 ○議会運営委員長 ○下水道対策特別委員	 ⑮土方 尚功 (民主クラブ) ○文教委員 ○市立病院等対策特別委員	 ⑭執印真智子 (無会派) ○建設副委員長 ○下水道対策特別委員	 ⑬宮沢 清子 (公明) ○副議長 ○総務委員
 ⑳黒川 重憲 (公明) ○建設委員 ○下水道対策特別委員	 ㉓夏井 明男 (公明) ○文教委員 ○交通対策特別委員	 ㉒馬場 繁夫 (公明) ○厚生委員 ○市立病院等対策特別委員	 ㉑内田 勲 (市民クラブ) ○総務委員 ○交通対策特別委員	 ㉔鈴木美奈子 (日本共産党) ○文教委員 ○市立病院等対策特別委員	 ㉑板垣 正男 (日本共産党) ○総務副委員長 ○議会運営副委員長 ○下水道対策特別委員
 ㉓米沢 照男 (日本共産党) ○厚生委員 ○議会運営委員 ○スポーツ・文化施設対策特別委員	 ㉔竹ノ上武俊 (日本共産党) ○文教委員長 ○市立病院等対策特別委員	 ㉒一ノ瀬 隆 (護憲市民会議) ○総務委員 ○議会運営委員 ○下水道対策特別副委員長	 ㉑小山 良悟 (民主クラブ) ○建設委員 ○下水道対策特別委員	 ㉔旗野 行雄 (民主クラブ) ○建設委員 ○交通対策特別委員	 ㉑福島盛之助 (民主クラブ) ○議長 ○総務委員

公 明

修正案賛成

昨年、市議会は第3次基本構想を否決しました。速やかに再度策定作業を開始すべきであるのに、平成7年度予算案にはその経費が計上されていません。第2次基本構想の理念を継承し予算編成を行ったとのことですが、議会の議決権の軽視と言わざるを得ません。

今回の予算案の修正は、否決された条例との整合性を持たせるものであり、議会の修正権に添ったものです。

平成7年度予算案は、職員退職手当基金の取り崩し等によって、対前年度比4・2%の増額予算となっていますが、今後の退職者増を考えると、基金の取り崩しは慎重であるべきです。都市基盤整備や市立総合病院の建設等に多額の資金が必要なのに地方債残高が50億円にもなります。早急に財政計画を策定し、経常経費の削減、業務委託の見直しに努め、また、従来の予算配分方式を改めるべきです。

更に、阪神・淡路大震災を教訓にして防災対策に行政は総力を挙げて取り組むべき時、自主防災組織育成・指導の啓蒙費、備蓄備品購入費等が予算計上されず、防災センターの職員体制も整わないとは全く無責任であると考えます。

また、商業法人を予定している日野市企業公社に日本道路公団の占用許可施設を転貸し、更に行政財産を長期に渡り使用させ、市の部長が取締役就任するなど、問題点が多々あると考えます。

以上を申し上げ、修正案に賛成の意見といたします。

民主クラブ

修正案賛成

修正案に賛成の立場で意見を申し上げます。

まちづくりの基本である都市基盤整備と新しい行政課題に取り組むための財源を確保するには、行財政改革は避けて通れません。義務的経費を削減し投資的経費の割合を高め、効率的な市政運営と長期的視点に立った財政運営に努めなければならないことを最初に指摘しておきます。

対前年度比4・2%増と3年ぶりのプラス予算となりましたが、基金の取り崩し、減税補てん債の発行など、将来の財政への影響が危惧されます。都市基盤整備の大幅な遅れ、基本的ステップを踏まない市立総合病院の建て替え計画、政策だけに推移している南部地域の医療問題、ごみ減量対策、地域防災計画の見直しなど多くの重要課題を抱えています。財政環境を理由に多くの施策を先送りすることは、市民本位のまちづくりに背く行為と考えます。

平成7年度から行財政改革推進本部が設置されますが、事業の統廃合、補助金の適正化などに積極的に取り組み、議会に報告いただきたい。また、老人理美容券の交付に所得制限を導入することに反対ではありませんが、このことだけでなく福祉全体の政策を再検討すべきです。

最後に、見通しが暗い都立美術館用地買収に1億円を超える支出をすることは、適正な財政運営とは考えられないことを指摘し、また、第3次基本構想を速やかに再提案することを要望し意見とします。

一般会計予算

各会派の
総括意見

(要旨)



市民クラブ

修正案賛成

財源確立の大きなウェイトを占める経済背景は、まだまだ明るい見通しが見えず、加えて阪神・淡路大震災や異常な円高傾向など予期せぬ事態が加わり、今後とも相当厳しい状況が続く可能性がにあります。

このような背景の中、平成7年度一般会計は、対前年度比4・2%増のプラス予算が計上されていることは、市民要望が一つでも多く実現することであり、大変望ましいことと言えます。しかし、日野市の財政基盤の実態は、総額50億円を超える市債が更に増える方向にあることを考えると、極めて深刻な事態であると言わざるを得ません。

市民に対する行政責任は永続的でなければなりません。早急な行財政改革を7年度予算枠の中で実現されることを強く要望します。また、防災組織拡充に対して、多くの委員から論議が行われました。自主防災組織を作り、全職員が枠組みを超えた支援体制を整えておけば、非常時の対応は可能と考えます。人員増をせずに防災体制を整える方策をとるべきです。

最後に、老人理美容券に関する件ですが、予算が絡む条例改正にあたっては、見切り発的な提案を行うべきでなく、しっかりとした手順を踏んだ手続きが行われるべきです。加えて理美容券だけでなく、健康管理手当、敬老金等福祉の全体的な見直しを行うべきです。

以上の件を申し上げ、修正案賛成の意見といたします。

護憲市民会議

原案賛成

老人理美容券の配布に所得制限を設ける条例が否決されました。当然予算原案は改訂されるべきですが、これは提案者が行うべきものであり、現時点での議会からの修正は早計であり、修正案には賛成できません。

心身障害者通所訓練施設への送迎費の補助、保育園緊急一時保育の開始、市立総合病院の基本設計着手、中央図書館の夜間開館、戦後50年を記念した平和事業予算など、福祉・文化の面で日野市は他市をリードしています。土地区画整理事業及び下水道事業の促進、新井用水水辺及び平山緑地の整備など、都市整備でも積極的な取り組みもなされています。また、阪神・淡路大震災の教訓を生かし、自主防災組織づくりを目的とした自治会への補助金の増額は、タイムリーな施策と考えます。併せて、市政の重要な課題として多摩平団地の建て替え、西豊田駅の建設に取り組むことを期待しています。

最後に次のことを要望して申し上げます。就学時健康診断の通知で「必ず受けてください」という言葉を使つのは、教育基本法に反します。絶対に使わないでください。また、学校内へ警察権力の導入はあってはならないことを指摘しておきます。更に、地区センターに洋式便所と電話を設置することをお願いしておきます。また、市政のあらゆる面で西暦表記を使用すること、予算書の中で新規事業などにアンダーラインを引くことを要望し意見とします。

日本共産党

原案賛成

修正案に反対し、原案に賛成の立場で意見を述べます。

所得税減税による24億円の減収と国・都の補助金の削減は、市の財政状況に極めて大きな影響を与えています。そんな中、「市民こそ主人公」の基本姿勢に裏打ちされた95年度の予算内容は、厳しい財政状況の中で市民要求を積極的に反映させたものになっています。

市立総合病院建て替え計画及び多摩川苑福祉ゾーン事業の促進、障害者福祉事業の推進、第六・高幡台両小学校屋内運動場の大規模改造、中央図書館の夜間開館の実施、公共下水道及び区画整理事業の促進、市営住宅の建設、清流と緑地の保全事業の推進、ごみ減量とリサイクル事業の促進、防災備蓄コンテナ・貯水槽の設置、農業振興策の推進、消費者運動の支援、自主防災組織づくりを目指す自治会への補助金増額、戦後50周年記念平和事業への取り組みなどは、市民要望に応えた積極予算として評価します。

なお、市民に負担を強いることなく、効率的・民主的な行政を進める真の行政改革を強く要望するとともに、老人理美容券の交付に所得制限を設け、わずかの経費削減のために制度の魂を無くすることのないよう要望します。

最後に、今回の条例改正の否決に伴う予算の修正については、予算編成権を持つ市長に委ねるべきと考えます。執行機関と議決機関には、この程度の信頼関係が必要であることを申し上げ意見とします。

他に無会派の議員からそれぞれ意見表明がありました。

一般

要旨

質 問



各定例会では、市政全般について一般質問が行われます。今回は24名の議員から48件の質問がありました。

天野 輝男

(民主クラブ)

都市計画事業の諸問題について問う

問1 組合施行の区画整理事業の中で、特徴的なものはあるのかを問う。
問2 多摩動物公園周辺の市街化調整区域は残すべきと考えるが、見解を問う。
答(建設部長) 公園愛護会
答(都市整備部長) 日野 掃をさせていただいては、駅北地区では再開発の要素を、新町地区では水田、用水、清掃と砂の補充を行っています。また、砂場については、を生かした計画を進めています。

佐瀬 昭二郎

(護憲市民会議)

地域の防災力をいっそう高めるために

問1 自主的な地域防災の体制づくりを問う。
問2 東京都の報告書等の防災情報を公開する考えがあるのかを問う。
問3 地域ごとの防災計画を住民参加で進めるべきと思うがその考えを問う。
答(市長) 自治会を地域単位として、その中で防災について対応していくべきと考えております。
答(総務部長) 関係機関と協議してまいります。
答(同) 方策としては有意義と思っています。
市民だれもが使いやすい地区センターをめざして
問 洋式トイレ化についての計画を問う。
答(生活文化部長) 公共下水道の切り替え工事に合わせ、また男女別も含めて実施しております。

竹ノ上 武俊

(日本共産党)

バイクで安心して走れる道路づくりを

問 百草団地外周道路の派出所付近の補修工事について問う。
答(建設部長) 平成7年度に実施する予定です。
市立病院の建て替えには、七生地域住民の声を生かして
問 見解を問う。
答(市長) 機会を伺えて積極的な主張をしていくと思います。
七生地区からの交通手段の改善について、建て替えの基本計画の中で調査する考えはないかを問う。
答(企画財政部長) 調査・検討が必要と考えます。また、基本計画とは別に市全体の交通機関の整備を図っていきたく考えます。
政府の公団住宅「民営化」は、住宅政策の放棄だと思ふ
問 見解を問う。
答(市長) 機会を伺えて積極的な主張をしていくと思います。

一ノ瀬 隆

(護憲市民会議)

市政と自治会の関連を求めて

問6 ゴミ問題について市の要望を問う。
答(生活文化部長) 自治会間の調整に努力します。
答(同) 公平に取り扱っています。
問1 自治会による地区センターの独占使用を問う。
問2 過小自治会の補助金について問う。
答(同) 有効な方法と思いません。
問3 連合自治会に対する考えを問う。
答(総務部長) 防災組織を設け訓練等を行うことがよいと思います。
問4 回覧を利用し市政の連絡をしようか問う。
答(環境部長) リサイクルを中心し、ゴミの減量に協力をお願いしています。

旗野 行雄

(民主クラブ)

七生土地改良区について

問 現在、七生土地改良区内の事業は終結しており、解散に向けての対応が必要ではないかと思ふ。
答(生活文化部長) 解散事務委員会設置要綱を整え、組合員の協力を得ながら事務を遂行していきます。
地域の諸問題について
問1 平山城址公園駅前の公園施設建設計画について問う。
問2 日野消防署多摩平出張所の移転について問う。
問3 平山六丁目平山苑地区内道路の公道移管について問う。
答(企画財政部長) 平成7年度は遺跡調査を予定しています。
答(同) 西平山土地区画整理区域内の国鉄清算事業団の土地を検討中です。
答(建設部長) 地籍調査の実施を検討します。

内田 勲

(市民クラブ)

休日歯科診療所の開設に向けて(その2)

問 休日歯科診療所の開設に向けて、その後の進展状況について問う。
答(市長、生活文化部長) 事業の実施主体は八南歯科医師会、場所は生活・保健センターの3階です。この事業は東京都の委託事業なので、平成8年度開設を目途に、現在協議を進めています。
大坂上と多摩平の閑静な住宅街をなせ工業地域のまま放置しておくのか
問 この地区の今後の用途地域変更計画について問う。
答(都市整備部長) この地域は工場もまだ残っている中で、用途地域の変更を今後検討するならば、地区計画とか区画整理など、この地域のまちづくりを考えながら進めていくことになります。

奥住 日出男

(民主クラブ)

街づくりの経営に異議あり

問1 行政運営の基本論についての考えを問う。
問2 街づくり経営のポイントと方針について問う。
問3 経営方針を職員が理解しているか問う。
問4 時代の要請にこたえる事業の推進が積極的と思ふがいかがか。
答(市長、企画財政部長) 市民の立場で庁内を見、最小の経費で最大の成果を上げ、住みよい街をつくることだと思ふ。
答(同) 最少の経費で最大の公共サービス、公共福祉を目標とし、自発的、積極的、効率的に業務に取り組んでいくことかと思ふ。
答(同) 庁議等で十分審議し、実行に移すため協議し、進めます。
答(同) 限られた財源で効率的な運営をめざし、取捨選択を図り実行します。

菅原 直志

(無党派)

どうなっている? 地域防災計画

問1 災害時のボランティア活動への対応を問う。
問2 自主防災組織の現状と今後の取り組みを問う。
答(総務部長) ボランティアの重要性は認識しており、その使途に対して指導が必要と考えます。
答(市長、総務部長) 登録組織はありません。地域

小山 良悟

(民主クラブ)

ミニバス南平路線について

問 自治会より路線の変更が出たとき市は対応する考えがあるのかを問う。
答(企画財政部長) 住民の合意、また、道路の拡幅等の問題が整えば対応したいと考えています。
百草駅前整備について
問 駅前整備を今後どのように計画しているか。
答(市長) 計画としては団地の東側と都市計画道路3・2・10号線への避難道路を検討しています。

鈴木 美奈子

(日本共産党)

高齢者をはじめ、すべての人が住み続けられる住居合意による建て替えを

問1 多摩平団地の建て替えは、情報を公開し住民合意で計画せよと問う。
問2 建て替え計画の中に特養老人ホーム等の公共施設建設はあるのか問う。
問3 都営住宅の併設の計画はあるのか問う。
答(同) 公団、東京都とも基本的には前向きに検討したいとのこと。
答(同) 豊田南区画整理事業、南北通路、下水処理場跡地問題を総合的に判断し、整備基本計画を策定していく考えです。

板垣 正男

(日本共産党)

市民総合体育館の建設見直しについて

問1 (仮称)仲田総合体育館検討委員会の内容と委員会構成について問う。
問2 総合体育館の規模に模範的でない約8千11万3千㎡位になると思われる。
答(教育長、社会教育部長) 体育館と一体で考えねばならないので合わせて検討していきます。

渡邊 馨鴻
(無会派)

豊田南区画整理の進捗状況と新年度予定及び今後の計画を明示せよ

答(総務部長) 防災情報センターを中心に対応します。学校の耐震検査は検討をします。

問 区画整理事業は市民との信頼関係を確立し計画を明示していくべきと問う。
答(都市整備部長) 十分話し合い、詳細な事業計画を早期に示すよう努力します。

日野市における防災対策の現況と今後の計画

答(学校教育部長) 利用団体を登録し信頼関係に立つた開放をしてまいります。

中谷 好幸
(日本共産党)

防災総点検で地震に強いまちを!

問1 自主防災組織について、どんな組織を想定しどんな役割を期待しているのかについて問う。
問2 市民は啓蒙や育成の対象であり主役としない地域防災計画について問う。
答1(市長、総務部長) 自治会をひとつの編成単位とし、自主的に自主的に機能します。

吉富 正敏
(民主クラブ)

21世紀への福祉ビジョンについて問う

問1 新ゴールドプランと多摩川福祉ゾーンへの民間法人導入について問う。
問2 女性の社会進出に伴う保育と災害時の保育園の対応について問う。
答1(福祉部長) 従来のものを見直したものです。民間法人の導入については、今後、検討します。

多摩川福祉ゾーンへの民間法人導入について問う

問1 新ゴールドプランと多摩川福祉ゾーンへの民間法人導入について問う。
問2 女性の社会進出に伴う保育と災害時の保育園の対応について問う。
答1(福祉部長) 従来のものを見直したものです。民間法人の導入については、今後、検討します。

土方 尚功
(民主クラブ)

清流はいつよりどせのか

問1 現在、どんな構想を持っているのかを問う。
問2 具体的に計画に着手する時期について問う。
答1(市長) 万願寺土地区画整理事業の記念碑的なものとして、市民活動に役立つ施設を考えています。

問 市内河川の流は、本流に清流と言えようになつてきていると考えるか。
答(建設部長) 公共下水道の普及、清流条例の制定、用水路の整備などによる市民の意のまとりの取り組みにより、水質は随分と良くなつてきていると考えます。
(仮称) 浅川公会堂計

執印 真智子
(無会派)

災害に強いまちづくりをー命を守る緑地空間を確保せよー

問1 災害に強いまちづくりの今までの取り組みについて問う。
問2 卒業式・入学式での呼び名の敬称状況を問う。
答1 学校教育部長 男女平等教育推進部会を設置して調査、研究しています。
答2(同) 呼び名の敬称は、整理事業の中で総合的なまちづくりを進めています。

問 災害に強いまちづくりの今までの取り組みについて問う。
問2 卒業式・入学式での呼び名の敬称状況を問う。
答1 学校教育部長 男女平等教育推進部会を設置して調査、研究しています。
答2(同) 呼び名の敬称は、整理事業の中で総合的なまちづくりを進めています。

田原 茂
(公明)

「子供」「障害者」「高齢者」にやさしい街づくりを目指して

問4 スクールゾーンの設定と生活道路におけるガードレール設置への取り組みについて問う。
答1(福祉部長) 条例化を検討する中で考えていきたいと思っています。

問 福祉環境整備要綱を促進するため、融資制度の導入と罰則規定の設定について考えるか。
答2(同) 財政窮乏のため、なかなか見通しが立ちませんが、内部で検討を進め、なるべく早い機会にと考えています。

沢田 研二
(市民クラブ)

日野市の平成7年度予算に見る、財政危機の実態と今後の対策について問う

問1 現在計画が延期されている第2期工事の具体的な見通しについて問う。
答(社会教育部長) 財政状況をしながら、できるだけ早期に着工できるよう検討します。

問 市の考え方を問う。
答(企画財政部長) 財源確保に努めるとともに、経費削減の精神を保つてまいります。

江口 和雄
(市民クラブ)

阪神大震災を教訓とし、市民自治の健全な発展に行政は積極的に関与すべきだ

問4 総合防災訓練の計画内容について問う。
答1(生活文化部長) 生活課が直接の窓口となり、他の部署との調整機能を果たしています。

問 自治会が抱える問題への対応について問う。
問2 自主防災組織と自治会は切り離すべきと考えるが、その見解と自主防災組織の育成について問う。
問3 地域防災計画の見直しについて問う。

江口 和雄
(市民クラブ)

阪神大震災を教訓とし、市民自治の健全な発展に行政は積極的に関与すべきだ

問4 総合防災訓練の計画内容について問う。
答1(生活文化部長) 生活課が直接の窓口となり、他の部署との調整機能を果たしています。

問 自治会が抱える問題への対応について問う。
問2 自主防災組織と自治会は切り離すべきと考えるが、その見解と自主防災組織の育成について問う。
問3 地域防災計画の見直しについて問う。

馬場 繁夫
(公明)

震災対策の抜本的見直しと危機管理体制について問う

問1 阪神・淡路大震災後の防災への対応を問う。
問2 一向に進まない防災組織体制は、いつ整うのか。
問3 小中学校校舎の耐震対策について問う。
問4 ブロック塀の倒壊対策について問う。
問5 自主防災組織を始める。

問 阪神・淡路大震災後の防災への対応を問う。
問2 一向に進まない防災組織体制は、いつ整うのか。
問3 小中学校校舎の耐震対策について問う。
問4 ブロック塀の倒壊対策について問う。
問5 自主防災組織を始める。

森田 美津雄
(護憲市民会)

新しい市立総合病院は、包括的な医療の実践と住民のための病院づくりという理念のもとに計画せよ

問1 いじめの問題について見解と対応について問う。
答(教育長、学校教育部長) 各学校から情報を収集し、対策会議を開いたりしています。また、子供からのサインを見落とさず、いじめを発見した時の対応などを先生が身に付けることが大切であると考えています。

問 高度医療の提供だけでなく、健康づくり、リハビリ、在宅ケアなどを包括した病院づくりに向け、その考えを問う。
答(企画財政部長) 保健、福祉、医療の総合窓口の機能。

夏井 明男
(公明)

阪神・淡路大震災から学ぶべきこと

問1 特別養護老人ホームの待機者について問う。
問2 在宅介護支援センターの計画について問う。
答1(福祉部長) 10人が待機しており、可能な限り在宅サービスの提供を行っています。

問 今後の課題を問う。
答(助役) 都の被害想定に基づき、地域防災計画の見直しが必要と考えます。

夏井 明男
(公明)

阪神・淡路大震災から学ぶべきこと

問1 特別養護老人ホームの待機者について問う。
問2 在宅介護支援センターの計画について問う。
答1(福祉部長) 10人が待機しており、可能な限り在宅サービスの提供を行っています。

問 今後の課題を問う。
答(助役) 都の被害想定に基づき、地域防災計画の見直しが必要と考えます。

橋本 文子
(護憲市民会)

西平山地区の区画整理について

問1 区画整理事業により個人の土地、住宅がどのように快適でゆとりある生活が送れるのかを問う。
答(都市整備部長) 地域全体の環境を整えることを基本と考えております。

問 区画整理事業により個人の土地、住宅がどのように快適でゆとりある生活が送れるのかを問う。
答(都市整備部長) 地域全体の環境を整えることを基本と考えております。

橋本 文子
(護憲市民会)

西平山地区の区画整理について

問1 区画整理事業により個人の土地、住宅がどのように快適でゆとりある生活が送れるのかを問う。
答(都市整備部長) 地域全体の環境を整えることを基本と考えております。

問 区画整理事業により個人の土地、住宅がどのように快適でゆとりある生活が送れるのかを問う。
答(都市整備部長) 地域全体の環境を整えることを基本と考えております。

米沢 照男
(日本共産党)

16年間にわたる鈴木都政が日野市の行政に与えた影響について

問1 財政面に対する感想を問う。
答(企画財政部長) 時期ごとに変化はあるが16年間で都支出金の伸びは2.8倍です。

問 財政面に対する感想を問う。
答(企画財政部長) 時期ごとに変化はあるが16年間で都支出金の伸びは2.8倍です。

米沢 照男
(日本共産党)

16年間にわたる鈴木都政が日野市の行政に与えた影響について

問1 財政面に対する感想を問う。
答(企画財政部長) 時期ごとに変化はあるが16年間で都支出金の伸びは2.8倍です。

問 財政面に対する感想を問う。
答(企画財政部長) 時期ごとに変化はあるが16年間で都支出金の伸びは2.8倍です。

江口 和雄
(市民クラブ)

阪神大震災を教訓とし、市民自治の健全な発展に行政は積極的に関与すべきだ

問4 総合防災訓練の計画内容について問う。
答1(生活文化部長) 生活課が直接の窓口となり、他の部署との調整機能を果たしています。

問 自治会が抱える問題への対応について問う。
問2 自主防災組織と自治会は切り離すべきと考えるが、その見解と自主防災組織の育成について問う。
問3 地域防災計画の見直しについて問う。

江口 和雄
(市民クラブ)

阪神大震災を教訓とし、市民自治の健全な発展に行政は積極的に関与すべきだ

問4 総合防災訓練の計画内容について問う。
答1(生活文化部長) 生活課が直接の窓口となり、他の部署との調整機能を果たしています。

問 自治会が抱える問題への対応について問う。
問2 自主防災組織と自治会は切り離すべきと考えるが、その見解と自主防災組織の育成について問う。
問3 地域防災計画の見直しについて問う。

夏井 明男
(公明)

阪神・淡路大震災から学ぶべきこと

問1 特別養護老人ホームの待機者について問う。
問2 在宅介護支援センターの計画について問う。
答1(福祉部長) 10人が待機しており、可能な限り在宅サービスの提供を行っています。

問 今後の課題を問う。
答(助役) 都の被害想定に基づき、地域防災計画の見直しが必要と考えます。

夏井 明男
(公明)

阪神・淡路大震災から学ぶべきこと

問1 特別養護老人ホームの待機者について問う。
問2 在宅介護支援センターの計画について問う。
答1(福祉部長) 10人が待機しており、可能な限り在宅サービスの提供を行っています。

問 今後の課題を問う。
答(助役) 都の被害想定に基づき、地域防災計画の見直しが必要と考えます。



請願・陳情の審査状況

今定例会では請願・陳情38件が審査され、6件が採択されましたが、5件は不採択となり27件が閉会中の継続審査となりました。

総務委員会

不採択

○「日本のプルトリウム利用に対する」意見書提出の請願
【結論】 全員一致の不採択です。

継続

○「日本のプルトリウム利用に対する」意見書提出の請願
【結論】 賛成少数で不採択です。

不採択

○「日本のプルトリウム利用に対する」意見書提出の請願
【結論】 賛成少数で不採択です。

○「日本のプルトリウム利用に対する」意見書提出の請願
【結論】 賛成少数で不採択です。

○「日本のプルトリウム利用に対する」意見書提出の請願
【結論】 賛成少数で不採択です。

○「日本のプルトリウム利用に対する」意見書提出の請願
【結論】 賛成少数で不採択です。

文教委員会

継続

○学校図書館事務嘱託員の雇用の継続を求める請願
【結論】 賛成多数の採択です。

継続

○学校図書館事務嘱託員の雇用の継続を求める請願
【結論】 賛成多数の採択です。

採択

○学校図書館事務嘱託員の雇用の継続を求める請願
【結論】 賛成多数の採択です。

○学校図書館事務嘱託員の雇用の継続を求める請願
【結論】 賛成多数の採択です。

○学校図書館事務嘱託員の雇用の継続を求める請願
【結論】 賛成多数の採択です。

○学校図書館事務嘱託員の雇用の継続を求める請願
【結論】 賛成多数の採択です。

厚生委員会

採択

○乳幼児医療助成制度の充実を求める請願
【結論】 賛成多数の採択です。

○乳幼児医療助成制度の充実を求める請願
【結論】 賛成多数の採択です。

○乳幼児医療助成制度の充実を求める請願
【結論】 賛成多数の採択です。

○乳幼児医療助成制度の充実を求める請願
【結論】 賛成多数の採択です。

○乳幼児医療助成制度の充実を求める請願
【結論】 賛成多数の採択です。

建設委員会

採択

○公園建設に関する請願
【結論】 賛成多数の採択です。

○公園建設に関する請願
【結論】 賛成多数の採択です。

○公園建設に関する請願
【結論】 賛成多数の採択です。

で袋小路になっており、緊
急車両が入れない事態も十
分に予想されます。従って
道路を整備し、また冬の
降雪時の降雪・凍結防止対
策をとってほしいとの請願
です。
【結論】 賛成多数の採択
です。
※本陳情は建設委員会では
採択となりましたが、本会
議において不採択となりま
した。

継続

○程久保八丁目22番地先道
路崖崩れの補修に関する
請願
【結論】 賛成多数の採択
です。

○程久保八丁目22番地先道
路崖崩れの補修に関する
請願
【結論】 賛成多数の採択
です。

○程久保八丁目22番地先道
路崖崩れの補修に関する
請願
【結論】 賛成多数の採択
です。

○程久保八丁目22番地先道
路崖崩れの補修に関する
請願
【結論】 賛成多数の採択
です。

○程久保八丁目22番地先道
路崖崩れの補修に関する
請願
【結論】 賛成多数の採択
です。

○程久保八丁目22番地先道
路崖崩れの補修に関する
請願
【結論】 賛成多数の採択
です。

○程久保八丁目22番地先道
路崖崩れの補修に関する
請願
【結論】 賛成多数の採択
です。

今定例会で議決した議案

市長提出議案

1 平成6年度日野市受託水道事業特別会計補正予算(第2号)の専決処分の報告承認 (承認)

2 日野市手数料条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)

3 日野市職員の退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)

4 日野市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例 (原案可決)

5 日野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)

6 日野市立地区センター条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)

7 日野市自転車等の駐車秩序の確保に関する条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)

8 日野市中心身障害者(児)福祉手当支給条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)

9 日野市高齢者福祉条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)

10 日野市老人福祉手当条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)

11 日野市児童育成手当条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)

12 日野市遊技場条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)

13 日野市体育施設条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)

14 平成6年度日野市一般会計補正予算(第3号) (原案可決)

15 平成6年度日野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号) (原案可決)

16 平成6年度日野市土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号) (原案可決)

17 平成6年度日野市下水道事業特別会計補正予算(第3号) (原案可決)

18 平成6年度日野市総合病院事業特別会計補正予算(第3号) (原案可決)

19 平成6年度日野市受託水道事業特別会計補正予算(第3号) (原案可決)

20 平成6年度日野市老人保健特別会計補正予算(第2号) (原案可決)

21 平成6年度日野市老人保健特別会計補正予算(第1号) (修正可決)

22 平成7年度日野市一般会計予算 (原案可決)

23 平成7年度日野市国民健康保険特別会計予算 (原案可決)

24 平成7年度日野市土地区画整理事業特別会計予算 (原案可決)

25 平成7年度日野市下水道事業特別会計予算 (原案可決)

26 平成7年度日野市総合病院事業特別会計予算 (原案可決)

27 平成7年度日野市受託水道事業特別会計予算 (原案可決)

28 平成7年度日野市老人保健特別会計予算 (原案可決)

29 平成7年度日野市老人保健特別会計予算 (原案可決)

30 日野市組織条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)

31 日野市固定資産評価審査委員会委員の選任 (同意)

議員提出議案

1 乳幼児医療助成制度の充実を求める意見書 (原案可決)

2 日本農業と食糧を守り、安全で安定的な食糧の供給を求める意見書 (否決)

後記

市議会だより第128号をお届けします。
今号より紙面中使用する活字が大きくなりましたが、お気づきになった
でしょうか。これからも読みやすい紙面作りに、編集委員一同努力してま
いります。ご意見、ご感想をお寄せください。